

## [12] radix : 九州大学全学共通教育広報

<https://hdl.handle.net/2324/20377>

---

出版情報 : radix. 12, 1997-03-31. 九州大学教養部大学教育研究センター  
バージョン :  
権利関係 :



# radix

radix(ラーディクス)は、根、根源を意味するラテン語。ヒトの根源にまなざしを向け、豊かなこころの根を広げたい。

1997 4.7

九州大学全学共通教育広報 No. 12



韓国慶州の古墳公園（大陵園）

六本松キャンパス 出会いの場……柴田洋三郎… 2

全学共通教育科目の履修について……押川 元重… 3

## 韓国と日本 2

### 韓国における日本の大衆文化開放の問題

金 龍燮… 6

私のくに、私のこころ……吉本 和子… 8

『おいでませ 中古屋』……中古屋チーム…10

ぼくとふるほんたち……古本屋チーム…12

## サークル紹介 4

What is “OUENDAN”? ……下原 雅史…14

君も世界へ翔ばたこう 一九大生の海外留学制度

について……留学生課…15

温泉だ！ 単位だ！ 九重へ行こう！！

朝長 千恵…16

第22回合宿共同授業参加者募集……17

### 学生生活を上手に送るために

誰に何を聞いたらいいか……18

六本松地区教室・施設案内……20

六本松地区事務窓口案内……22

六本松地区建物・掲示板等案内図……23

学習室の閉鎖と夜間構内警備について……23

あとがき……24



## 六本松キャンパス 出会いの場

副学長 しば た 柴田 ようさぶろう 洋三郎

新入生の皆さん、入学おめでとう。皆さんが九州大学の新たな一員として共に学ぶ我々の仲間に加ったことを、われわれ教職員一同、心からお祝い申し上げます。春爛漫の花の下、いまみなさんは期待に胸をふくらませていることでしょうか。またこれから始める大学生活に一抹の不安を抱いているかもしれません。

諸君のこれまでの学校生活は、先生方の指示に従っていればよい、受身の学習であったことと思います。しかし大学は基本的に学生・教官の区別なく、広く人間活動における知の獲得を共通の目的とする、学びの場であります。したがって学生諸君に既成の知識体系を習得してもらうことはもちろん必要ですが、それと同等あるいはそれ以上に重要なこととして、新たな知の可能性を探り、より大きな知的体系の構築を絶えず模索しつづける場であればなりません。このため単に既存知識を吸収するだけでなく、各人自らが、主体的、積極的に疑問を抱き、未知のことを探求していく姿勢が求められます。大学では、ただ正課授業に出てノートをとり、教科書を読むだけでは不十分であり、各人が自分の頭で思索することが不可欠です。そのためには少し無理して背伸びをし、ずっと遠くまで見渡し世界を広げてください。読書によって先賢と出会ったり、周囲の人々との交流による体験や話し合いによって、触発され、啓発されて目を開くことが多いものです。正課授業をこなし同級生とだけつきあうだけでなく、積極的に先生方や先輩と交流を深め、新しい環境にふれて、主体的に自己を向上させ、感性を磨き、人生への洞察を深めてください。

あと3年余りで激動の二十世紀も終わります。君達は21世紀に九州大学から巣立っていく、最初の学生となります。新しい世紀の展望は現在の変革の時代にあって残念ながら明瞭でなく、混沌の中にあるとさえいえます。この変動の時代にこそ状況に流されない確たる自己を確立することが求められます。つまり現在重宝され流布している学問・技術をこえた、もっと基本的、根源的な知の体系を基盤として出発することこそが、新たな学問領域や技術を開花させる可能性を含ん

でいるといえましょう。

先達の成功の甘い果実のみを食べ、酔いしれていては、新たな実を結ぶことは望めません。どうか若い時代にどっしりと深く、広く根を広げ、将来太い幹となって自らがたわわな実を結ぶことができるよう努めてください。

先年の改革により入学一年目から週1日箱崎や病院地区で専攻分野の授業を受けることになりました。毎年教室で目を輝かせた一年生の諸君と顔を合わせることができるのは学問研究にたずさわるものとして本当に嬉しい、幸福なことです。一方で諸君の中には、週1日だけでは不満だ、できるだけ早く専門分野の勉強だけをしたいという声も聞きます。もちろんその意欲や動機は大変貴重なことですが、私には少々性急な考え方にみえます。各人の興味あることを自分で自主的に学習することは結構なことです。しかし、六本松キャンパスでこれから学ぶ基礎的教養科目や語学は、君達が卒業後、将来大きく飛躍していくための根や幹をはぐくむ貴重な糧となるものです。幸いなことに六本松キャンパスには理系文系をこえたさまざまな分野の優れた先生方や、比較社会文化研究科をはじめとする各研究科大学院の意欲あふれた先輩の方々、また全学部の学生さんが集まっています。是非、授業やセミナー、クラブ活動、サークルをはじめあらゆる機会を通じて、積極的に多くの人々との様々な交流を深めていただきたいと思います。私も六本松で過ごした2年間で、さまざまな方々と出会い、多くの大切なことを学びました。今日こうして私があるのは、あの六本松時代が出発点だったような気がします。

新入生の皆さん、言うまでもないことですが、君達は今ゴールに入ったのではなく、新たなスタート点に立っているのです。どうか六本松キャンパスが、諸君にとってすばらしい先生、すばらしい友人、そして素晴らしい未来の自分との出会いの場となるように祈っています。

(医学部)



## 全学共通教育科目の履修について

大学教育研究センター長 押川 元 董

入学おめでとうございます。皆さんは喜びとともに勉強を含めた大学生としての新しい生活に対する期待をもって入学したことでしょう。ここでは全学共通教育科目の履修についていくつかのことを説明します。

全学共通教育については配布されている2冊の冊子「全学共通教育履修要項」と「全学共通教育履修の手引き」に詳しく説明されていますので、それらをきちんと読んで履修の仕方に誤りがないようにすることが第一です。

### なぜ専門以外の勉強をするのか

大学では専門分野の勉強だけをするものだと思っていたという人がいます。実際は1年生における専門分野の学習はわずかにすぎません。その理由の一つは専門分野を学習するためにはそれに適応できるだけの学力を身に付けることが必要だということです。しかし理由はそれだけではありません。皆さんには将来、社会のさまざまな分野で指導的な役割を果たすことが期待されています。その期待に応えるためには専門分野についての優れた能力を備えるとともに、広い範囲の事柄についての判断力と生起する問題に的確に対処できる能力が必要です。

理系を専門とする人を含めて、ほとんどの人が卒業後何年かたつと仕事が管理的な性格のものになってき

ます。そうした立場に立つと、人間とはいかなるものか、社会はどのように動いていくのか、さらに学問はどのように発展していくのかということについての判断力が大切になってきます。例えば、情報技術とその利用や環境問題とその解決がどのように進展していくかについては、あらゆる分野の人が関心をもたざるを得なくなっています。学問の進歩も急速で、一生を大学で学んだことだけで済ませるわけにはいきませんので、卒業後もつねに学習を継続することが必要です。学問の基礎をしっかりと身に付けていなければ自ら学習を行うことはできませんし、自らの学習をいきいきと展開していくためには学習を狭い範囲に限定するわけにはいきません。既に多くの人が大学院に進学するようになっていますし、これからは文系の分野においても大学院進学者が増えていくことは確実です。

確かに、学習の焦点を定めないと学問の面白さを味わえず、学問への興味も沸かず、学習へ集中しにくいということがあります。そのような意味においては学部教育で専門分野を定めることが必要であるとしても、一生それを専門として生きていくという意味での専門分野を決めるのは大学院段階でよいのではないかという考え方があります。入学した時点から明確な専門職業や資格を目標においた教育が行われる学部もありますのでこの考え方の当否については一概にはいえませんが、これからの複雑化し個性的な生き方が尊重される社会においては、進路の変更や専門分野の変更はますます柔軟に行われるようになるのではないかと思います。

こうした社会の変化や学問の進展をも考慮した大学教育の目標をどこに置くかということは、大学の学部によっても異なります。大学の中でもいろいろな考え方や議論があることも事実ですが、それを集約した形で、それぞれの大学・学部は教育目標とそれにもとづく教育カリキュラムを定めています。そうした教育目標と目的をもった組織である大学で学ぶ限り、皆さんは好きな勉強だけをするというわけにはいかず、卒業するためにはカリキュラムに沿った学習をして成果を



あげないといけないわけです。

大学はつねにその教育目標・目的を検討し、それを実現する教育の実施をめざしていますし、全学共通教育も専攻教育との有機的な連携のもとで効果的な教育の実現をめざしています。

### 時間割の空き時間

大学では時間割に空き時間があり、しかも1年生はその空き時間に科目を履修できないことになっていますので、学生からその制約をなくして欲しいという要望があります。履修する時間と次に履修する時間との間が飛ばないようにしようと時間割の作成において心掛けていますが、それもなかなか困難です。

空き時間に科目履修ができないことにしている理由の一つは、履修科目数の学期配分を考慮しているからです。1年生のときにできるだけ沢山の科目を履修しておいて2年生では空き時間をつくりたいという考えを持つ学生が少なくありませんが、それは好ましくないと考えています。大学設置基準における大学4年間の履修単位数である124単位を単純に割ると1学期当たり15単位強にすぎませんので、それを基準にして時間割をつくったとすると、空き時間ができてもおかしくありません。それは学生がその分だけ予習復習等を行うことにより、密度の濃い学習をすべきであるという考えにもとづくものです。

そうした空き時間が多い文系の学生の皆さんには、空き時間に図書館で学習したり、食堂兼用の学生控え室で友人との交流の時間に使っていただくことを薦めます。特に立派な図書館が必ずしも十分に利用されていないことを残念に思っています。

空き時間に履修できないことにしているもう一つの理由は、履修希望者が殺到して教室の収容数を越えることがないように、1クラスの履修者数を適正な規模

にすることです。

### 高校で習わなかった内容

大学では、教育の多様化にともなって高校で学習した内容が異なる学生への対応に工夫を凝らしているところですが、どのような内容を学習していない学生がどれだけいるかを調べることもやっています。しかし、皆さんに理解してほしいのは、高校で習っていないことを予習して授業に臨むことは大学での勉強においては当たり前なことだということです。授業を担当する教官に、どのような内容をどのような参考書を用いて予習するのがよいかについて質問するなり、予習すべき内容をシラバスに記載してもらうように要望してください。理解困難な学習内容について教官に質問することは良いことですが、高校で習わなかった内容を理解できなくて当たり前だといって、理解のための努力を放棄することは大学では許されません。

### 新しい科目の開設

今年度前期には新しい周辺教養科目「社会と学問」を開講します。これは社会のさまざまな分野の第一線で活躍している方々に、仕事と学問がどのようにつながっているかということや、自らの体験にもとづく学生への期待等を語っていただき、学生はそれにもとづいたレポートを作成し、討論する科目です。講師のほとんどが社会のトップで活躍されている本学の卒業生になる予定です。

また、後期には周辺教養科目「私の学問論」を開講します。これはさまざまな専門分野の研究のトップで活躍された本学の名誉教授の方々に、自らの経験にもとづく学生への期待等を語っていただき、学生はそれにもとづいたレポートを作成し、討論する科目です。

これらの科目は学生の皆さんが大きな目標をもって



意欲的に学習に励んでいただくことを期待して、杉岡総長をはじめとする全学の支援のもとで開講されるものです。

### 情報処理機器の整備

インターネット等の情報処理技術の発達とその利用の進展は驚くべきものがあります。それに対応して情報処理教育の内容の改善を進めるとともに、さまざまな教育科目において情報処理機器等を利用した授業改善を図っています。また、情報処理機器利用に対する学生の強い要望に応えるために、機器の整備や利用の円滑化を図っているところです。今年度後半までには大幅な機器の整備が実現する予定です。さらに学生が所有する手持ちのパソコンを接続できる情報コンセント室を新しく設けることにより、学生の情報処理機器の利用を一層促進する計画を進めています。

休講、補講、学生呼び出し等の掲示の電子化を4月から実施しますが、この掲示情報はインターネットによりどこからでも見るできるようになっています。また、それぞれの授業クラスごとの個別シラバスについてはシステムを利用しやすいものにするために改善を急いでいるところです。個別シラバスの閲覧により学生が次の授業時間の授業内容等がわかるようにしたいと計画しています。

### アンケートの役割

皆さんにはこれから何度か全学共通教育科目についてのアンケート調査に協力していただく機会があることでしょうか。そうしたアンケート調査は授業内容や方法等について学生がどのような意見をもっているかを調べることにより、教育内容や方法の改善のための資料とすることを目的として実施するものです。実際、これまで学生の皆さんから真面目な調査協力がありま

したので、調査分析結果にもとづいてすでに改善した事項が沢山ありますし、これからもそうした調査・改善を続けていくことにしています。学生の皆さんが教職員と一緒に、授業内容や方法等の改善を進めているという気持ちになって、アンケート調査に積極的に協力していただくことをお願いします。

### 充実した学生生活を

最後に科目履修とは別ですが、学生生活に少しだけ触れます。

熱意をもった説得勧誘が繰り返されると、最初はおかしいと感じていたことが正しいものと思われるようになってくるものです。人間はそういった弱い面もっていますし、個人だけでなく国民全体が異常なことを許容した歴史の深刻な事実もあります。皆さんの年代はまだ経験が多いとはいええないことをも考慮して、さまざまな異なる意見を比較検討しながら、誤りのない自らの考えを確立して行って欲しいと思います。もちろん社会のゆがみから目を遠ざけることのない正義感は大切です。若い人々のそれがなくなれば社会はもっとひどいものになっていくことは確実です。大学生活においてはサークル活動等の自主的な活動にも大きな意義があります。

大学は学問の場ですから言論や思想の自由を大切にします。いかなる極端な意見であっても自らの責任において発表することができますし、反対の意見を発表することもできます。ただし、暴力や暴力を背景とした脅迫は許されませんし、構内の美的環境の維持にも務めなければなりません。なお、地下鉄建設工事のために六本松地区及び構内が混雑しますので、特に安全に注意してください。

皆さんが意欲的で内容豊かな大学生活を実現することを期待します。





## 韓国における日本の大衆文化開放の問題

教育学研究科 博士後期課程 2年 <sup>きむ</sup>金 <sup>よん</sup>龍 <sup>そぶ</sup>雙

### はじめに

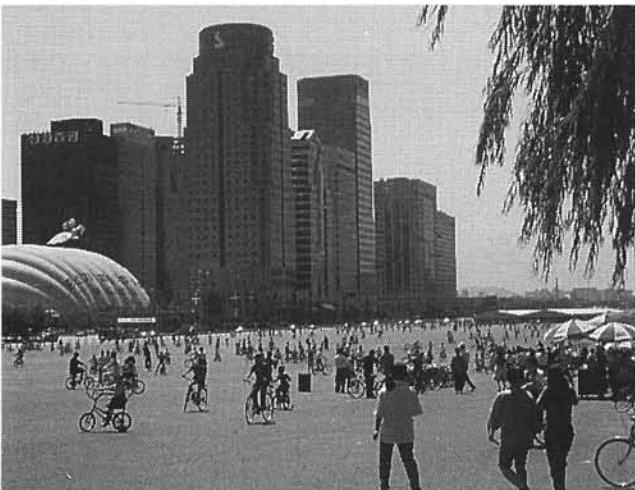
韓国は、1945年8月15日、日本の植民地統治からの解放以来、現在に至るまで、歌謡曲や映画など日本の大衆文化の輸入を禁じてきました。その主な理由は、かつての日本の植民地支配に対する心理的な抵抗感や日本の政治家たちによって繰り返される植民地支配を肯定するような発言などがあげられます。だが、韓日交流が活発になるにつれ、韓国で公式には禁止されている日本の大衆文化も、事実上非公式ではあるが、多く流入されて広まりつつあります。

そのような状況のなかで、韓国では日本の大衆文化解禁の問題をめぐる熱い議論が交わされてきました。その議論の内容は、下記のとおり大きく3つに分けられます。

### 「全面開放」論

この立場に立つ人々は、国際化時代における開放は当然のことであり、いまだに日本の大衆文化だけを拒否することは時代遅れだと主張しています。そして、韓日両国間の文化交流を促進するためにも早急に全面開放すべきだとし、後述する「開放不可」論者たちの主張を文化鎖国主義だとし、日本との過去の歴史問題は文化交流とは別の問題だと批判しています。

すなわち、韓国人として日本の過去の植民地支配を忘れられないのは当然だが、21世紀を目前にしている



時点で、韓国人にとって何より必要なのは、感情的な「反日」よりも日本人の思考方式・生活及び行動様式の産物である日本の大衆文化をより積極的に受け入れ、日本や日本人を正しく理解すべきだと強調しています。

### 「段階的開放」論

この見解は、大衆文化を文化そのものとしてみるというよりも産業として認識していると思われます。すなわち、韓国の大衆文化産業が日本に対して競争力をもつまでにもう少し開放を遅らせるべきだという慎重な立場です。マスコミの報道などに基づけば、韓国政府の方針もこれに沿っていると考えられます。

この「段階的開放」論は、例えば、時期別や分野別にいくつかの段階を設け、歌やレコードは日本人歌手の韓国公演から始め、徐々にレコードなどの販売と制作を認め、最終的には放送も許可するという形です。また、映画の場合は韓国映画への日本人俳優の出演と韓日合作映画の制作、次いで有線放送での日本映画の放映、一般放送での放映を許可するという手順です。

近いうちに韓国政府もこのような形で、公式に日本の大衆文化を許可すると思われませんが、まだ明確なその時期や内容は発表されていません。

### 「開放不可」論

日本の植民地支配の残滓や歴史認識の問題などがい

まだ完全に解決されていないのに、日本の大衆文化の開放を許すことは、国民感情からみても納得できないという主張です。さらに、娯楽性の強い日本の大衆文化は商業主義的だから、特に低俗な漫画や暴力的な映画が青少年たちに悪い影響を与えかねないと強調しています。そのため、日本の大衆文化は、輸入する必要がないと強硬な姿勢を取っています。

しかし、むしろ公式に日本の大衆文化を全面的に開放することにより、韓日両国民の交流や相互理解がより一層深まり、過去の歴史認識のズレも解消できるでしょう。また、日本映画の暴力性の問題にしても、全体の問題ではないはずです。もしそれを問題にするなら、ハリウッドや香港の映画も暴力性の強いものも多いから、全部を上映禁止にすべきでしょう。要するに、受容する側の態度の問題だと思います。

#### おわりに

韓国で日本の大衆文化が禁輸となっても、現実には大都市を中心にあちこちでみられるパラボラ・アンテナでNHKの衛星放送を視聴している韓国人は少なくありません。韓国人の衛星放送の視聴は、一時、スピルオーバー（電波越境）が問題となりましたが、1985年頃から本格的にはじまり、1987年には韓国政府が日本の衛星放送受信用のパラボラ・アンテナの輸入を正式に許可したため、急速に増えました。また、カラオケや炉端焼きが韓国人の生活文化の一部となっており、すでに日本の大衆文化が韓国人の生活に少なからず影響を及ぼしています。

いままでに韓国で流行った日本の歌謡曲もかなりあります。例えば、いしだあゆみの「ブルーライト・ヨコハマ」、五輪真弓の「恋人よ」、長渕剛の「とんぼ」などです。特に、地理的にも日本と一番近いこともあ



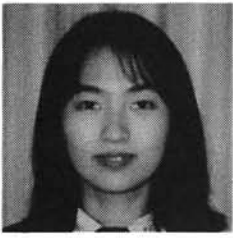
って、NHK衛星放送はもちろん、日本の民間放送も視聴できる釜山のカラオケ・バーや「ノレバン」（カラオケ・ボックス）などでは、日本の歌謡曲の目録を備えているところも多いので、別に頼めば、公然とは言えないが、演歌をはじめとする最近流行っている日本の歌謡曲なども歌うことができます。

また、日本に滞在した経験のある商社マン及びその家族や留学生、語学研修生などが帰国するにつれ、日本の大衆文化は広まりつつあるといえます。そして、韓国の若者たちの考え方は、日本の大衆文化を先入観をもって特別視しない傾向が強くなってきています。

一方、1994年9月には、日本の映画や歌謡などの一般公演が禁止されているソウルの国立劇場で、初めて日本の劇団四季の日本語ミュージカル「ジーザス・クライスト＝スーパースター」が上演されました。これは1992年に日本で行われた「韓国文化通信使」の答礼として、日本政府が韓国政府の協力を得て実現した「日本文化通信使」のメインイベントでしたが、これからの開放に向けてその象徴性は大きいでしょう。

近い将来、韓国における日本の大衆文化の開放は、不可避なものになるでしょう。その日が一日も早く来ることを望みながら…。





## 私のくに、私のころ

1989年法学部入学 <sup>よし</sup>吉 <sup>もと</sup>本 <sup>かず</sup>和 <sup>こ</sup>子 <sup>ムン</sup>(文 <sup>フアジヤ</sup>和子)

皆さんには愛する故郷ふるさとがありますか？

私には、時には泣きたくなるほど私を捕らえて離さない、韓国と日本という「ふたつのくに」があります。

### 在日韓国人であるということ

私が、「在日韓国人の三世である」ということの歴史的意味や、そのことは私にとって一体何なのか、ということを実際に真剣に、抜き差しならないものとして考え始めたのは大学生になってからでした。

「三世」というのは、祖父母が韓国から日本にやってきて、父母、そして私…と、日本に住んで私で三世代目になるということです。

日本で生まれ育った私は、祖父母の話から韓日の歴史的事実や日本軍について残っている民話などを知り、父母の話から両親が幼いときに、韓国人であるということ、ただそのことだけでいかに差別されたかということを知りました。自分の国を奪われ、土地や財産ばかりでなく、言葉や民族服までもはぎ取られてしまった哀しさ、悔しさ…祖父母の嘆きは私の胸に深く熱く、刻まれていったのです。そして日本人に負けないよう、しっかり勉強して、立派な韓国人になれ、との言葉に「そうだ。日本人に負けるものか」と歯を食いしばる私がいたのです。

しかしその一方で、日本で生まれ育ち、日本の風土と文化に育まれ、日本語を母語（人が最初に自然に身につけた言語）とし、日本語で思考する私、という存在があります。韓国語を話せず、韓国の風土に触れたことすらない私。そんな私が、果たして韓国人であると言えるのか…。

韓国と日本の中で時には韓国に、時には日本に、振り子のように私の心は揺れ、行き場のなさ、自分の存在の頼りなさに私は不安でいっぱいだったのです。

### 祖父母の国を訪ねて

私は産みの親を探す子どものように、手探りで私の祖父母の国・韓国に一步でも近づこうとしました。大学で「朝鮮語」という講座をとり、ハングル文字を読み書きできるようになりました。そして大学二年の初

夏、私は「母国青年訪問団」に参加し、生まれて初めて韓国を訪ねる旅をしたのです。しかし、ハングルが読み書きできるといったって、会話がすらすら出来るわけではありません。私が恐れていた通り、韓国の税関では「韓国語、話せるのか」と聞かれ、「少し…」とおそろおそろ答えると舌打ちをされ、公園では男の人たちに囲まれ「なぜ、韓国語が話せないのか!!」と詰られ、恥ずかしさや罪悪感がごっちゃになって、胸に熱いものが湧き上がり、私は顔を上げることができませんでした。



港を見下ろすように建っている愛光園

### 私の原点・風薫る島「巨済島」<sup>コジエド</sup>

こうして私の初めての旅は、悲しい思い出となってしまったのですが、大学4年の秋、思いがけず再び訪韓の機会を与えられました。韓国の障害児教育の現場を取材するTV番組のリポーターとして、私は釜山の近くにある島・巨済島にある「社会福祉法人・巨済島愛光園」を訪れることになったのです。

愛光園の園長であり、障害を持って生まれたために孤児となった200余名の園児たちの母でもある金任順キムインスン先生の清らかさ。金先生の活動や考えに賛同し、大規模な園の経営や大勢の子どもたちの教育に携わる職員や先生方のあたたかく澄んだまなざし。そして何より、子どもたちの明るさ、ひとなつっこさ…。

取材期間中、この島を包んでいる人々のさり気ない優しさが私の心に染み込んできて、「私は、許されている。受け入れられている。」という思いで、日本では決

して流したことの無い涙が、止めどもなく頬を伝いました。

「愛とは、国境を越えるものですよ…」

金先生のおっしゃった言葉が、私の耳に今も響きます。私のルーツである韓国と、私が生まれ育った国、日本。過去の歴史がどうであれ、私はどちらかを選ぶことはできません。どちらの国にも、私が愛する人たちがおり、私が愛する文化があり、私を愛してくれている人たちがいるのです。

私には、大切な故郷ふるさとがふたつあるのです。



金任順先生（右端）たちと、愛光園にて

### 国籍や歴史を越えて

私の大学生活4年間は、ここ日本で、自分が在日韓国人であるということをどのようにとらえて生き抜いていくのか…を模索する旅だったような気がしてなりません。手掛かりもなく、先の見えないように思われたこの道のりを、なんとか私なりに歩き続けることができたのは、両親と友人たちの支えがあったからです。特に大学時代に出会った友人たちは、私にとってかけがえのない宝物です。

彼ら、彼女らは私の迷いや悩みを真剣に受け止め、私のために泣き、私のために喜んでくれました。彼らと出会って、私は人が国籍や歴史を越えて、人として尊敬し、人として愛しあい、人として共に手を取りあって生きていけるのだということを、心から信じることができるようになったのです。

反発し、傷つけあいながらも、私の心の中の韓国と日本は互いにひかれあい、今、調和への道を懸命に探ろうとし始めています。しかし、「国」レベルで考えるならば、戦後52年になろうという現在も、韓日両国の間には解決していかなくてはならない問題がたくさんあり、本当の意味で「近い国」になるまでには、まだまだ時間がかかりそうです。私と切り離しては考えられないふたつの国が、これから先どのような道を選ん

でいくのか。私は日本に住んでいる韓国人として、在日韓国人の三世として、見つめ続けていかななくてはならないと思っています。



チマチョゴリを着て、卒業式に

### そして現在…

私が北九州の自宅に戻って3年が過ぎようとしています。在日のことについて文章を書いたり、話をしたりする機会をいただくことも多くなりました。また、私は2年前から、朝鮮半島に伝わる太鼓・チャングを習い始めました。週に一度、小学校を練習場に使用してもらっています。メンバーには、その小学校の先生や在日の青年たちなど、老若男女、国籍も様々です。

昨年は何度か、地元の小学校やいろいろな集まりに呼ばれ、演奏をしました。在日のことをもっと知ってもらおうということ、韓国の楽器に触れてもらおうというのが主な目的です。

先日、チャングを抱えて小学校へと歩いていたら、「文ぶんさ〜ん」と小学生の女の子に声をかけられました。「これから練習ですか？ また演奏に来てくださいね〜」

いつの日か、両国が本当に近い国になることを願いながら、ひとつひとつの出会いを大切にしていきたいと思っています。こころの輪が、ひとつ、またひとつと広がっていくことを信じて…。



チャングの練習

# 『おいでませ中古屋』

## — 六本松中古屋案内 —

「六本松を探る」 中古屋チーム

外国で言われている「Japanese are easily excited but quick to cool down.」って知ってますか。日本語に訳すと「日本人は熱しやすく、冷めやすい」、なんだそうです。なんだか耳の痛い話ですよね。確かに私達は流行に敏感で、目新しい物が大好きで…。

だけど、新しい物にはない古い物の魅力ってあると思うんです。もっともっと、私達は古い物を見直してもいいんじゃないかって…。

六本松周辺には数多くの中古屋があるんです。今回は、六本松の中古屋とその魅力を探りました。

### ■イメージ、どうですか？

「中古品」って聞くと思わず壊れやすいと連想しますよね。でもこのイメージ間違っていると思いませんか？ なんだか「ガラクタ」のイメージとごちゃ混ぜみたいで…。実際は、家電製品は型が少し古いだけで機能に差はないし、家具の中には年代を経た方が良い物だってある（中古品は壊れるより値段が高くなって買えなくなる方がよっぽど恐ろしい）んですよ。変な先入観にとらわれるのは何事につけても危険だと思うんです。



### ■メリット、なんですか？

中古屋の最大の利点は品物が廉価であるという事です。実際私達が調査した範囲でも、TVや冷蔵庫といった家電製品は半値程度でした。おまけに六本松で購入した場合、修理や部品交換などのアフターサービスも速いですし、配達・設置も経済的（配達料は軒並み

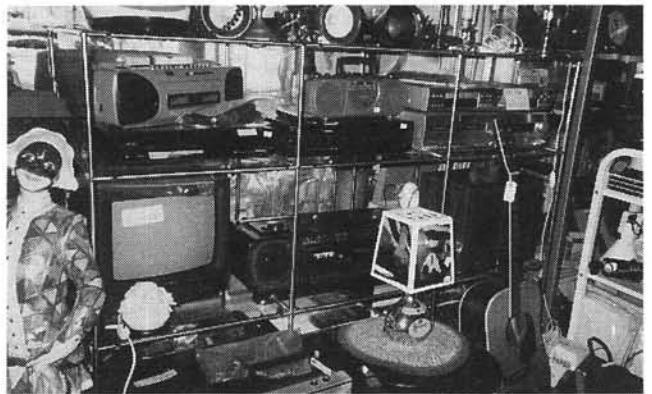
1000円）なんです。新品を買って送ってもらうよりもずいぶん上手な方法だと思いませんか？

### ■ポイント、ありますか？

さて、ここで皆さんに知って得する賢い中古屋の利用方法を教えましょう。

#### その1・季節を狙え！

中古品というのは在庫も値段も季節によって流動的です。品物によっては人気があって価格が上がったり、在庫が多くて安くなったりする物があるのだそうです。私達が調査に行ったのは10月下旬だったのですが、ある店で「今は一番来てはイカン時期だねえ」と怒られてしまいました。家電製品の狙い目は引っ越しシーズンだそうです。逆に家具など季節で変動しないものは、時間をかけて吟味するのもしいかもかもしれません。



#### その2・値段を下げろ！

中古品というのはただでさえ安いのに、それをさらに安くしようという離れワザです。

中古屋の人はそもそも商人であることがポイントです。店の人は客に店の言い値ですんなり買われては、喜び半分悲しみ半分なんです。すなわち、客との値段の駆け引きを首を長くして待っているわけです。

品物を手にしながら「2つ買うからまけて」、とか、「この傷みてよ！ これじゃあこの値段は高いなあ」、なんて言ってみましょう。店の人も反撃してく

るでしょうが、渋い顔をしていても内心ではニコリ笑っていると思って大丈夫（時と場合によるので、本当に嫌がっていたら素直に話題を変えてください）。

交渉も中古屋の魅力の1つなんだと思います。具体的に値段を下げるテクニックはいろいろありますが、とりあえず私達学生は度胸と根気で一步も引かず、「私はこれが欲しい」、とつぶらな瞳で訴える事にしましょう。

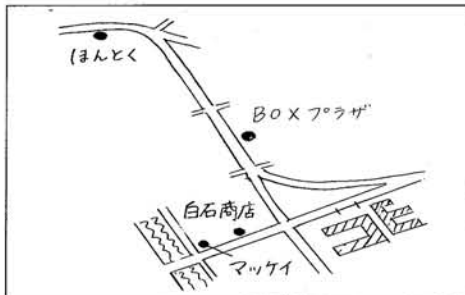
### その3・店員に聞け!

中古屋の店内はひたすら物が立ち並んでおり、別世界のようと思わず口をポカンと開けて歩いてしまいます。おまけにどこに何があるかなんて、私達にはまず分かりませんよね。

こんな時はグズグズせずにトットと店員に聞くのが一番です。何が欲しくて、予算はこれくらいで、などなど相談に快く乗ってくれるはずです。店によっては「掘り出し物」を奥に隠している（大切に保管しているとも言いますが…）ことが多いので、やはり店の人に案内してもらうのがベターだと思います。

### ■ショップ、おしえます

九大六本松キャンパス周辺には数多くの中古屋があって、福大や中村学園大の学生も大いに利用しているようです。その中からいくつかを紹介します。



#### BOXプラザ六本松店 (中央区草香江1-1-6 ☎731-7812)

見た目は小さいけれど中に入ると家電製品と家具で一杯で、入りきれない品物は外の道路にはみ出していた。店長によると「家電製品の予算は1セット（TV、冷蔵庫）で5万円」なんだそうです。毎年3、4月に大売出しを行い、大学4年間使った中古品も引き取ってくれるとのことでした。

主に家電製品を買いたい人にお勧めの店です。値段や配達料も交渉次第で変化しそうですよ。

#### マッケイ (中央区草香江2-2-8 ☎751-8008)

入口に洗濯機が並んでいるのが特徴です。店内も冷蔵庫と洗濯機が多かったです。一般の人の方が多いとのこと。注意したいのは「現金払で返品お断り」というはり紙。トースターや電子レンジなどの小型

家電製品も多いので、一度のぞいてみてください。

#### 白石商店 (中央区草香江2-2-1 ☎741-8654)

中に入るとネジなどの部品が多くてびっくりします。家電製品もありますが、どちらかというと工具関係の品物が多いようです。中古品のキレイさよりも安さを求める人にはお勧めです。店のおばちゃんはすごくいい人なので、交渉してみる価値はあると思います。

#### アンティークショップ ほんとく

(中央区鳥飼1-2-23 ☎751-9225)

店内は食器・ガラス製品など小物売場と家具の売場の2つがあります。家具売場はかなり広くて2Fも売場になっています。店長代理のおばちゃんによると、買うときのコツは「最初に高い物を安く買う」、でした。この店では何ととっても家具をお勧めします。木製のイスや家具調コタツなど種類も豊富です。家電製品よりも家具が欲しいというあなたにはぴったりです。



### ■キット また おいでよ

中古屋の魅力についていろいろ話してきましたが、「さあ、今すぐあなたも中古屋へでかけよう」、なんていうつもりはありません（そもそも私達は中古屋の手先じゃありませんからね。誤解のないように…）。ただ中古屋が何か物を買う時の選択肢の1つになればと思って…。

この調査で一番印象に残ったのは、ある店の人の言葉。「中古品を絶対ゴミにしない事。そしたら物は長生きするんだよ…」。物が生きるって発想、スゴイと思いませんか？

普段何気なく通り過ぎている中古屋の店内には、きっとあなたを待っている品物がある…、そう思うんですよ。

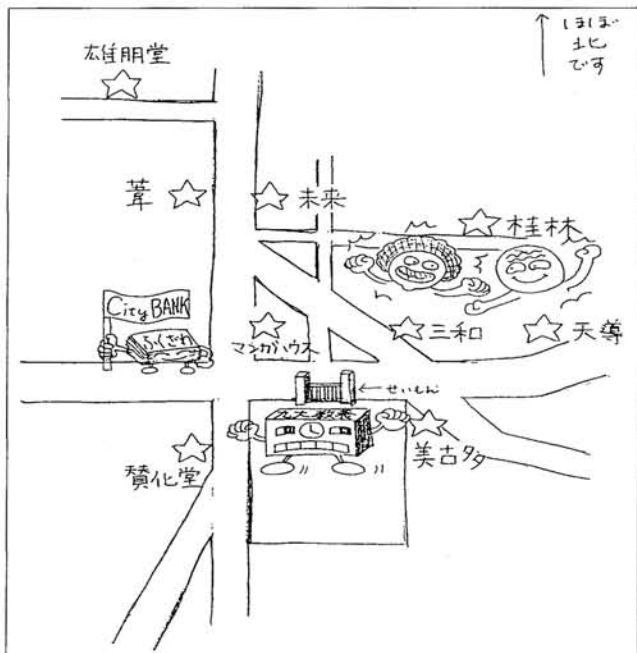
# ぼくとふるほんたち

## — 六本松古本屋案内 —

「六本松を探る」 古本屋チーム

皆さんは本を買う時、どういう店に行きますか？

ほとんどの人は新しい本を売っている本屋に行くのではないのでしょうか。私自身普段はそういった本屋に行きます。しかし、この六本松という場所には新刊書店の2倍以上の古本屋が存在します。こんなにたくさんある古本屋を使わないでおくのはもったいないと思いませんか？ もしかしたら皆さんの中の古本屋のイメージは「古本は汚い」とか「カビ臭い」といったものかもしれません。だけど実際に行ってみると本自体は気にするほど痛んでないし、店によっては普通の本屋と全く同じ様な店まであります。新刊に関しては普通の本屋にひけをとりますが、値段がリーズナブルな点や、その店の得意分野に関しては普通の本屋以上に良いラインナップのところもあります。古本屋という種類の店は一言では形容し難く、何から何まで店主のセンスしだいです。一度こういった古本屋を回ってみるだけでもおもしろいと思います。時間の空いた日曜日の午後などに散歩してみてもどうですか？ ここでは九大六本松キャンパスの付近に点在する9つの古本屋を紹介します。今度古本屋に行く時の参考にして頂ければ幸いです。



### 葦書房

美術系をメインに据えている店。美術品も売っている。郷土資料コーナーというのがあり、郷土関係の本は非常に充実している。他にも北原白秋や有島武郎、山本周五郎といった人の全集がたくさんあり、昭和初期の本もある。利用客層は30代～といった感じである。



### 桂林

特にメインに据えている分野はないみたいであり、あらゆる分野はあるが、強いインパクトがないというのが良くも悪くも特徴となっている。表通りからははずれた場所にあるので非常に静かである。そんな所でどっぷりと本の世界に浸るのもいいかも。

### 賛化堂

入口前にコミック&マガジンと出ているとおり、マンガ雑誌が中心である。特に雑誌に関しては六本松一であり、オーディオライフ(音楽)、航空ファン(飛行機)、ニュートン(科学)、ニュータイプ(アニメ)、スクリーン(映画)等々、多くの雑誌のバックナンバーがずらりと並んでいるところは圧巻である。マンガも量では第2位と思われる。店内は非常に明るく、雰囲気为新刊書店と似ている。10代を中心とした若者向けの店である。学校のすぐ横なので帰りがけにでもどうですか？

### 三和書房

各分野の本があるが、歴史系、文科系の新書本が充実しており、また古雑誌、古日本もそこそこ充実

している。どちらかという「俗」っぽい本を好む傾向がある。客層は10代～30、40代といった所であろう。見た目は少し古いが、中に入って見ると意外と親近感が湧く。

### 天導書房

左翼っぽい本が充実しているらしい。九大の学生が昔使っていたテキストや辞典、経済書等の専門書などは多く保有している。また岩波文庫の文庫本はかつての「名著」が多数存在する。利用客はやはり40、50代が多いか。あの雑然とした店内が数十年前を彷彿とさせる??



### まんがハウス

名前の通りまんがが中心。取り扱い商品はまんが、文庫本、ハーレクイン、同人誌、アダルト系雑誌、ビデオである。店内は明るく広いので、新刊書店と同じ感覚で入れ、また本自体の量も充実している。図書券も使え、本300円、ビデオ500円ごとにスタンプサービスとサービスも満点！ 新刊以外の本を買う時は先に一度こちらを覗いてみてはいかが？

### 未来書房

歴史物からマンガまで大体どの分野も揃っているが、店主によると中国関係がメインである。店自体は小さいが、小綺麗で見やすくまとめられている。古い本もそこそこあり戦前の本も置いている。BGMはなくTVがついている。いかにも古本屋といった感じの店。

### 雄朋堂

整然と整理され、見やすくまとめられた店内には経済、政治、法律、心理、哲学など文系の専門書から美術系まで各分野ごとに同じくらいの量が置かれている。専門書を見たいときはココがいい。もちろん普通の新書や文庫も置いている。他に100円コーナーなどを設けてある。利用者は学生よりやや上の人が多いらしい。店主は元九大生協書籍部の店長で、



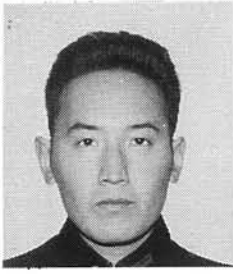
非常に気さくで話しやすい。たまには時間をわすれて人の良い店主のこの店に行くのもなかなか良いのでは。

### リブレード美古多

比較的歴史・哲学系の本が多い。たまに昭和初期頃の本も転がっている。店内は少し狭く、本棚の間にも本を山積みしているため少し動きにくい。外からの見た目は暗く、実際店内も電気が暗く、BGMがないため、何とも言えない妖しい雰囲気漂わせている。利用客も不明。六本松のカルトスポット!?

以上のように古本屋は、その店主のセンスや方針で全く異質の雰囲気を漂わせているが、そこがおもしろい所でもある。今の時代というのは常に新しい物を求め、古い物は駆逐され、忘れ去られていく時代である。そんな時代だからこそ、古い物にもより一層の価値がある。しかし古本屋の古い本というのは大抵はそこまで古い訳でもなく、出版されてから一ヶ月ぐらいで古本屋に来ている物もある始末である。我々がただ単に頭の中で漠然と持っているイメージで、新刊書店と比べると古い、汚い、暗い、怪しいと思って近寄り難く、自分には関係ない場所だと思いついてこんでいるだけなのである。これを機会に是非古本屋に足を運んでほしい。そしてどこか1つでも自分の気に入りの古本屋を作ってもらいたいものである。





## What is “OUENDAN” ?

農学部3年 <sup>しも</sup>下 <sup>はら</sup>原 <sup>まさ</sup>雅 <sup>し</sup>史

応援団という言葉を知って、普通の人は野球やアメフトに応援に行ったり、その応援の練習をするだけの団体と思うと思います。確かにそのような活動をメインにしていますが、それだけではなく他にいろいろな活動に励んでいます。それでは以下の文章で我々の一般に知られていない活動について述べてみます。

### たまには主役になってもいいじゃない！

応援と並んで重要な活動として、演武会というのがあります。この演武会というのは、日頃の試合では脇役をしている我々が主役になって応援の時に使う応援形態や演武、チアリング、演奏などを披露する場があります。そして、この演武会では試合以上に完璧さを求められ、その為に何度も何度も同じ事を繰り返し練習するのです。例えば、応援形態ではバックと呼ばれる一番後ろで拍手などを行っている者達は、拍手や声の出すタイミングや形をそろえ、リーダーと呼ばれる一番前で手振りをする者は出入りのタイミングや手振りを美しく振り、チアリーダーはいつも笑顔で元気にそろえて踊り、吹奏は曲を丁寧に演奏しメロディーの流れを止めないようにするといった事が要求されます。これが完璧に出来れば、野球で言えばダブルプレーが完璧に出来た時のような感動があります。

### 株式会社応援団 情宣課

応援と演武会と並んで重要なのが情宣活動で、試合の日程や結果をポスターに書いたり、新入生全員に配



る新勧誌の発行などがあります。試合の日程や結果をポスターにして貼る事で少しでも多くの学生が九大の部活に興味を持ってもらうのであります。また新勧誌は、“応援って長ランを着て、押忍なんて言って酒ばかり飲んでる奴ら”といった誤解を解消するために我々の活動や学生生活に役立つ情報を面白おかしく紹介する雑誌であります。この雑誌を発行する為の資金は広告取りで調達します。広告取りは応援団における営業であり、企業やお店に頭を下げてなんとかして広告を頂いて来るのですが、「最近不景気でねえ…」「広告料高くないか…」などと厳しいお言葉を受ける事も多く、果ては「あんたら九大の名をかたるサギ違う？」と言われた事もあります。そういう時こそ丁寧な態度で対応するよう心がけています。このように広告取りとは大変気を使い、めいる事もありますがそこは「頑張ってこ」なんてつぶやきながら気持ちを切り換え、数多くの店を“失礼します”と元気な声を出して回ります。

我々応援団は以上のようないろいろな活動を行うことで、九大が活性化することを期し、同時に冷めている奴を熱くさせる様な魅力ある人物になるべくこれからも精進していきます。

押忍



# 君も世界へ翔ばたこう

## — 九大生の海外留学制度について —

留 学 生 課

九州大学では、「若い時代に海外留学を体験することは大いに意義がある」として、平成8年度から学生交流協定を締結している外国の大学へ学部学生を派遣することにしました。

現在、ワシントン大学へ法学部・経済学部の2名、ミシガン大学へ経済学部の1名、ミュンヘン大学へ文学部の1名、合計4名の学部学生が留学しています。

### ■派遣はどのようなものか

この学生交流協定による派遣留学は九大に在学している学生を1年を越えない期間、交換留学生として外国の大学に派遣するものです。留学先大学の授業料は不徴収となり、留学中の宿舎について便宜がはかられます。

この派遣留学は学籍上「留学」とし、留学先大学で修得した単位および在学期間は九州大学の卒業要件として取り扱われます。

### ■学内の選考はどのようにおこなわれるか

平成9年度の派遣留学は平成8年4月、9月に留学説明会、11月に留学申請書の受付、平成9年1月8日および23日に面接をおこないました。面接は留学先の言語でおこなわれ、「留学目的をしっかりとち、交換留学生としてふさわしい人物か」、「語学力がどれくらいあるか」を中心におこなわれました。

この面接と在学中の学業成績を総合的に判断して派遣留学生を選考し、クィーンズランド大学、ミュンヘン大学、延世大学校、ワシントン大学、ミシガン大学、ライス大学へ7名の派遣を決めました。

### ■外国語はどれくらいできたら良いか

派遣留学にあたっては、留学先大学から一定の語学能力を要求されますので、はやくから留学先大学を決め、語学の勉強をはじめてください。

英語圏の大学ではTOEFLの一定以上の点数をとることが受入れの要件となっています。たとえば、クィーンズランド大学およびワシントン大学では550点、

ミシガン大学は560点です。

### ■奨学金は支給されるか

文部省が学生交流協定による外国の大学との学生交流を奨励するため、短期留学推進制度に基づく派遣留学生に奨学金を支給していますが、対象者が限られ少数です。私費で留学するつもりで資金計画をたてておくことが大切です。

現在仕送りを受けている人であれば、同程度の金額で生活ができます。航空運賃とその他雑費を予定すれば良いでしょう。

なお、民間団体の奨学金情報は、財団法人日本国際教育協会留学情報センター（目黒区駒場 4-5-29 ☎03-5454-5216）が扱っています。

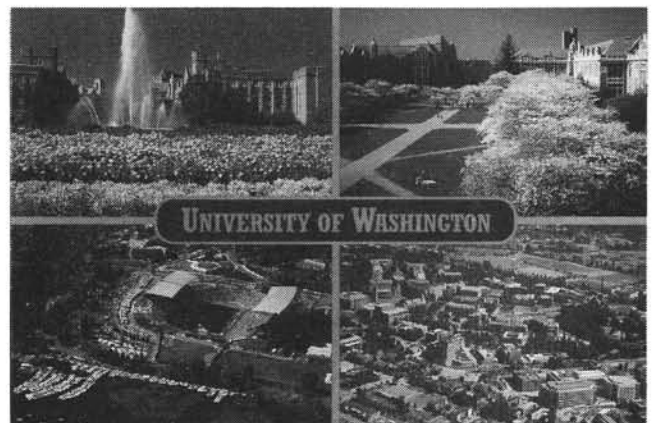
### ■平成10年の予定はどうなっているか

平成10年の日程はまだ決まっていませんが、平成9年に準じておこなわれる予定です。

留学説明会（箱崎地区と六本松地区）開催日程は、六本松地区の学生向け「公用掲示板」にも案内を出しますので、注意しておいてください。

### ■派遣留学についての問い合わせ

興味のある人、質問がある人は留学生センター1階の留学生課（箱崎地区 ☎642-2141）へ問い合わせてください。





## 温泉だ！ 単位だ！ 九重へ行こう！！

法学部2年 <sup>とも</sup> <sup>なが</sup> <sup>ち</sup> <sup>え</sup>  
朝長千恵

### やっぱり掲示板には注意しよう

新館と1号館の連絡通路の下に長々と伸びる掲示板。面倒くさいので普段は休講掲示板ぐらいいしか目を通さないが、時々お得な情報も人目を避けてひっそりと掲示されている。その第1が、この「九州地区国立大学間合宿共同授業」であろう。私は大学入学前からあるルートでこの合宿の存在を知っていたのだが、知らなければこの掲示には目とはまらなかつたであろう。現実には多くの人はこの合宿のことを知らない。おかげでその参加者選定の競争率は低かった。そしてこの掲示に目がとまり、なおかつ応募してみようという奇特な人間ばかりが集まるという結果になったわけである。

### 「九州地区国立大学間合宿共同授業」とは？

私に言わせれば、温泉に入り、山に登り、食べて飲んで2単位ももらえるというお得な企画である。もちろん講義もあり、レポート提出の義務もあるが、そんなことは微々たるものだ。

この合宿授業は九州内の12の国立大学から教官と事務官と学生が集まり4泊5日共に九重の山奥で生活するというものである。日中は他大学の学生と他大学の教官の講義を受ける。夜は、友好を深める（私はまだ未成年なのでこれ以上の言及は慎むが、とりあえずここには食べるか飲むか、温泉に入るか、しゃべるかしか夜を明かす方法はない）わけである。推して知るべし。



### 出会いこそが面白い

『単位がもらえるからこの合宿授業が楽しかったわけではない』。第21回の九大からの参加生12名はきつと口を揃えてこう言うことだろう。この12名にしても7学部からの集まりである。彼らともこの合宿に参加しなければきつと出会えなかつたであろう。さらに他大学ともなれば出会えたこと自体素晴らしい偶然である。皆、いやに盛り上がり一緒に踊り狂ったり（私は知らないが、そうらしい）、しみじみ語り合ったり、議論したり。少なくとも最終夜は皆自分の部屋にはいなかった（と思われる）。この合宿にはたった5日間でそこまで何か友情めいたものを生み出せるという可能性がある。講義や部屋割りはいくまで一つの「きっかけ」にすぎず、あとは自分次第。たとえその5日間の人間関係にすぎなくとも、そこから得るものは計り知れないのだ。

### だから、九重へ行ってみよう！

私が体験したのは、あくまで「第21回合宿共同授業」であって、「第22回」がどのような場になるかは私は知らない。ただ『こういうものもあるよ』と紹介するだけである。「第22回」はその参加者が作り上げるのだ。その気さえあれば簡単なこと。

さあ、掲示板に気をつけよう。



# 第22回合宿共同授業参加者募集

**メインテーマ**

共生の時代の科学・学問

—いま、大学で何を学ぶか—

**フォーラムテーマ**

それぞれの学びと生き方

—学生時代をどうすごすか—

**第22回九州地区国立大学間合宿共同授業の期間**

1997年7月11日(金)～15日(火)

**合宿共同授業の開催場所**

九州地区国立大学九重共同研修所

**参加者募集期間**

4月23日(水)～5月9日(金)

詳細は学生向け公用掲示板で知らせる。

**募集人数** 12名

**応募先** 教務掛(六本松地区)

**参加費用** 10,000円(九重までの交通費を含む)

**事前学習会** 週1回,計7回程度行う。

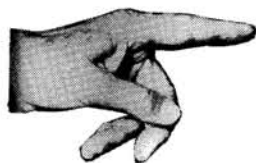
フォーラムテーマについてのレポートの作成,懇親会での出し物の練習など。

**科目・単位** 周辺教養科目として2単位

## 第22回九州地区国立大学間合宿共同授業の日程

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
第一日目	7・11(金)						六本松発	貸切バス 車中利用	貸切バス 車中利用	自由時間 受付	自由時間	開講式 和インター ンション 交歓会	夕食	夕食	講義 (1) A B C	自由時間			消灯就寝
第二日目	7・12(土)	起床	朝食	講義 (2) A B C	講義 (3) A B C	昼食	講義 (4) A B C	施設見学	レポート作成	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食
第三日目	7・13(日)	起床	朝食	野外授業 ① ② ③ ④			昼食	フォーラム それぞれの学 びと生き方	自由時間	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食
第四日目	7・14(月)	起床	朝食	登山 (スポーツ)					自由時間	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食
第五日目	7・15(火)	起床	清掃	朝食	全体討議	閉講式	貸切バス 昼食 (弁当)	貸切バス 解散	六本松着										





## 学生生活を上手に送るために

— 誰に何を聞いたらいいか —

新入生の皆さん、入学おめでとう。いよいよ大学生としての新しい生活が始まりますね。いろいろやってみたくらいがあるんじゃないでしょうか。是非チャレンジ精神を発揮して、実り豊かな学生生活を創造して行ってほしいと思います。

ところで、のっけからこんなことをいうのは恐縮ですが、大学というところは学生に対してそう親切なところではありません。一応はクラスがありますが、毎日高校までのように出席をとるわけでもないし、担任の先生のように誰かが君のことを気にかけて様子を見ているというようなこともない。言ってみればみんな自由にしたらいいということで、それは結構なことなんだけれども、言い方を変えれば、自分からすすんで行動していかないと、自分が望む学生生活は作っていけないということでもあります。

学生生活を有意義に送るための**第一の鉄則**、それは**分からないことや疑問に思うことがあれば、まず自分の足で情報を集めること**。これです。

学生同士の噂話や先輩からのメッセージでいろいろ細やかな学生生活を送るにあたってのキーポイントを耳にするかもしれませんが、それをそのまま鵜呑みにせず、自分の目でしっかりと確かめることがなんといっても大切です。授業のとりかたのことや、単位のこと、奨学金の申し込み、どんなことでも、ひょっとして自分に必要ではと感じれば、まず事務窓口に行って尋ねてみることや、掲示板をよく確かめること、それをするわけです。後になって「あの時に聞きに来ていてくれたらねえ」ということがないように。「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」です。



それから、先に高校までのような担任は大学にはいないと言いましたが、実はそのかわり九大にはクラス指導教官という制度があります。入学後の新入生オリエンテーションの後、クラス指導教官との懇談会というのがありますが、そこにきておられる先生たちです。どの学生にたいしても、それぞれのクラス単位で、六本松に研究室をもつ先生と箱崎に研究室をもつ君達の学部の先生とが組んでその指導教官になっています。この先生たちは、君達が大学のキャンパス内で、誰に何を聞いたらいいか分からないというとき、相談相手になってくれる先生です。**学生生活上のことでも、どのようなことでも、まず自分のクラス指導教官の先生にたずねてみる**。それが君達に与えられた大切な権利ですし、学生生活を有意義に送るための**第二の鉄則**です。

具体的には、各種奨学金の申し込みに必要な推薦書を書いていただくとき、やむを得ぬ事情で休学や退学を考えなければならなくなったとき、あるいは復学や転学を希望するとき、そういったときはまずともかくクラス指導教官と連絡をとることです。

さて、どうやって連絡をとったらよいか。直接先生の研究室にうかがい、アポイントをとる。あるいは研究室に電話をしてアポイントをとる、というのでもいいでしょう。六本松の先生にでもよいでしょうし、箱崎の先生でも構いません。指導教官の先生にもそれぞれの仕事や都合があります。尋ねていったからすぐ話ができるとはかぎりません。アポイントをしっかりと、

というのを忘れずに。先生に失礼のないように、かといって恐れることなく堂々と話す姿勢が大切です。実はこの作業は、大学生として、自立した大人としての人間関係を身につけていくための重要な練習でもあります。

ところでもちろん、六本松のキャンパスにはクラス指導教官の先生以外にも、より専門的に君達の相談を担当している先生がいます。その先生たちを大いに活用することも、学生生活を豊かにするための**第3の鉄則**と言えるかもしれません。**カウンセラーの先生、学生指導教官**、それに君達の健康管理の相談にのってくれる**保健室の先生**やスポーツ実習や課外体育活動について相談してくれる**健康・スポーツ相談室の先生**などです。

カウンセラーの先生と学生指導教官はともに君達が君達自身の大学生活上のさまざまな問題に取り組むとき、専門的な立場から援助をしてくれます。カウンセラーの先生は主に性格や対人関係上のこと、学生指導教官は主に進路選択や修学上のこと、といった違いがあります。保健室、健康・スポーツ相談室も含めこれらの先生はみな本館一階に部屋がありますから、それぞれの案内に従って、顔をのぞかせて気軽に話をしてみるのもよい経験になると思います。

いざ、新しい充実した生活へと船出を！

そして、二年目を六本松で迎える君も、三年目を迎える君も、アクティブに事務の人たちや先生たちと交わってみよう。

(濱野清志：学生指導教官)

## 健康・修学・生活相談

カウンセリング・ルーム、学生指導教官室 (本館1階東側)

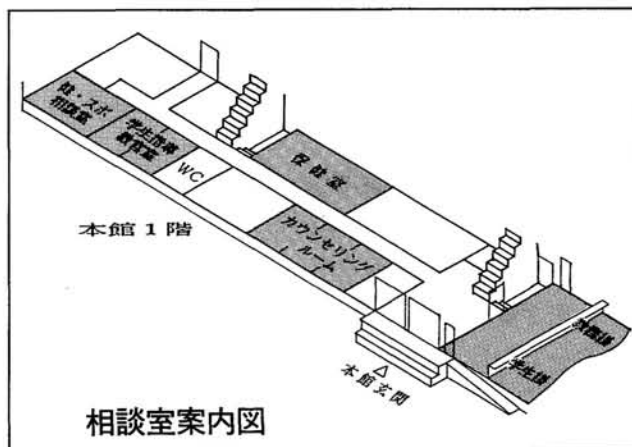
- ・ 修学上の問題、進路選択や日常生活の問題などについて、個人的に相談・助言が得られます。
- ・ 対人関係や性格など、学生生活を送るうえでの個人的な悩みや進路選択の悩みなどの相談に応じます。プライバシーについては十分な配慮をしています。

健康・スポーツ相談室 (本館1階東端)

- ・ 健康・スポーツ問題、健康・スポーツ科学実習、課外体育活動についての指導を行っています。

保健室 (本館1階東側)

- ・ 健康科学センターの保健管理医師と看護婦が常駐し、健康相談を行っています。
- ・ 健康・スポーツ科学実習の受講が困難な学生のために、健康・スポーツ相談室と連絡を取り、保健指導を行っています。



## 相談室一覧表

	相談内容	受付時間	担当者(内線電話)
クラス指導教官 (各教官室)	一般的な修学相談 各種申請書への添書 各専門教官への橋渡し	在室時	各クラス指導教官
学生指導教官室 (本館1階東側)	個人的な問題 学生生活上の問題など	10:00 ~16:00	園田教官 (4803) 濱野教官 (4805)
カウンセリング・ルーム (本館1階東側)	心理的不安や対人的悩み、進路選択の悩みなどの個人的・心理的問題	9:00 ~17:00	吉良教官 (4804) 田中教官 (4802)
保健室 (本館1階東側)	健康相談 疾病、負傷などの健康上の問題 健・スポ実習の受講困難な学生への保健指導	10:00 ~16:00	保健管理医師 看護婦 (4809)
健康・スポーツ相談室 (本館1階東側)	健康・スポーツ問題 健・スポ実習や課外体育活動についての指導	10:00 ~16:00	健康・スポーツ科学 担当教官 (4808)
学生掛 (本館1階西側)	一般的な相談 各専門教官等への橋渡し	窓口時間	学生掛

## 六本松地区教室・施設案内

六本松地区の教室や施設には、九大生が自由に利用できるものと、使用許可を得て利用できるものがあります。

### 読書・自習・談話・休憩などに 自由に利用できる施設

#### 図書館（附属図書館六本松分館）

- ・ 開架閲覧室，自由閲覧室，新着雑誌室，ブラウジングルーム，AV室が利用できます。
- ・ 開館時間は  
平日 9:00～20:00  
土曜日 10:00～17:00  
日曜日 10:00～17:00

です。試験期間や夏休みなどは時間を変更します。

- ・ 入館には「図書館利用者票」が必要です。
- ・ 「図書館利用者票」は図書の借り出しにも必要です。常時携帯してください。

#### 一般の教室（実験室・製図室を除く）

- ・ 平日で授業に使用しない時間帯には、施設時まで利用できます。

#### 第1，第2，第3談話室（学生会館2階）

- ・ 第1，第3談話室は16:00まで，第2談話室は21:00まで自由に利用できます。

#### 第1，第2食堂（学生会館1階），軽食堂（学生厚生センター2階），トリトン（本館1階）

- ・ 生協の営業時間終了時まで自由に利用できます。

### 機器類を使って自由に自習ができる教室

#### LL教室（1号館2階）

- ・ 平日で授業に使用しない時間帯には、教室内のブースを個別に利用することができます。詳細はLL事務室（1号館2階東）に尋ねてください。

#### 情報処理教室（1号館3階，特2）

- ・ 平日で授業に使用しない時間帯と放課後の20:00までは自由利用が可能です。

### 許可を得て利用できる施設

#### 亭々舎（六本松キャンパス南東隅）

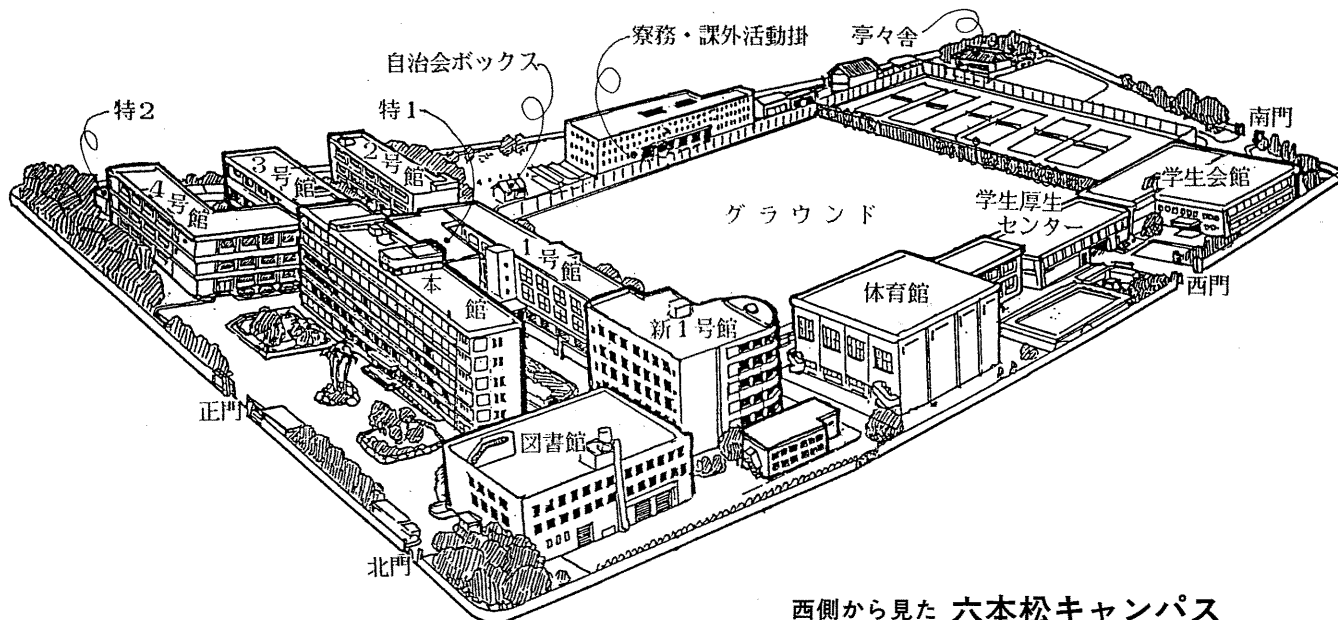
- ・ クラス・サークルの読書会や懇親会々場として利用できます。申し込みは、利用日の1か月前から3日前までです。寮務・課外活動掛窓口（課外活動共用施設1階，以下共用施設窓口とする）で手続きを行ってください。

#### 学生会館各室

- ・ 特別（グループ・サークル）使用願いは、4週間前から前日の午前中までです。学生証，印鑑を持って学生会館窓口で手続きを行ってください。

#### 一般の教室

- ・ 特別（グループ・サークル）使用願いは、10日前から前日の午前中までです。共用施設窓口で手続きを行ってください。



西側から見た 六本松キャンパス

## スポーツ・レクリエーション施設

### 体育館・グラウンド・テニスコート

- ・ 昼休みと夕方の時間以外にも自由に利用できる時間帯があり、器具の貸し出しも行います。利用方法、利用時間帯については、中庭の学生向け公用掲示板と体育館窓口に掲示してあります。
- ・ 海や山に行く人のために、年間を通じてキャンプ用品の貸し出しも行っています。体育館窓口で手続きを行ってください。学生証が必要です。

## 学外の研修施設

### 九大山の家（大分県玖珠郡九重町筋湯）

- ・ 九大の学生・教職員のゼミや合宿、登山の基地として利用されています。利用願いは2か月前から15日前までです。予約は1年前から可能です。申し込みは**共用施設窓口**で受け付けています。（「学生案内」参照）

### 九重共同研修所（九大山の家の横）

- ・ 九州地区国立大学の学生・教職員の研修施設です。予約は1年前から2か月前まで、利用申し込みは2か月前から15日前までです。申し込みは**共用施設窓口**で受け付けています。

### 島原共同研修センター（島原市郊外）

- ・ 九重共同研修所と同じような施設です。詳細は**共用施設窓口**で尋ねてください。

## その他の設備など

### 学生向け「公用掲示板」

- ・ 学生向けの情報は、**新1号館下の通路**の両壁面（授業関係）と**本館と1号館の間の中庭**（学生呼び出し、その他）の掲示板（23頁参照）にその都度掲示されます。周知された事項を見落とすことのないよう、日頃から注意してください。

### 学生専用掲示板

- ・ クラス掲示板（23頁参照）は本館と1号館の渡り廊下に設置されています。
- ・ 学生専用掲示板は厚生センター下通路の両壁面と体育館前のグラウンド沿いに設置されています。

### 身障者用エレベーターと身障者の自動車入構

- ・ 身障者や病弱者専用エレベーターが1号館に設置されています。図書館のエレベーターも利用できます。希望があれば申し出てください。
- ・ 身障者や病弱者で自動車による通学が必要な場合には、六本松地区への入構許可証を交付します。

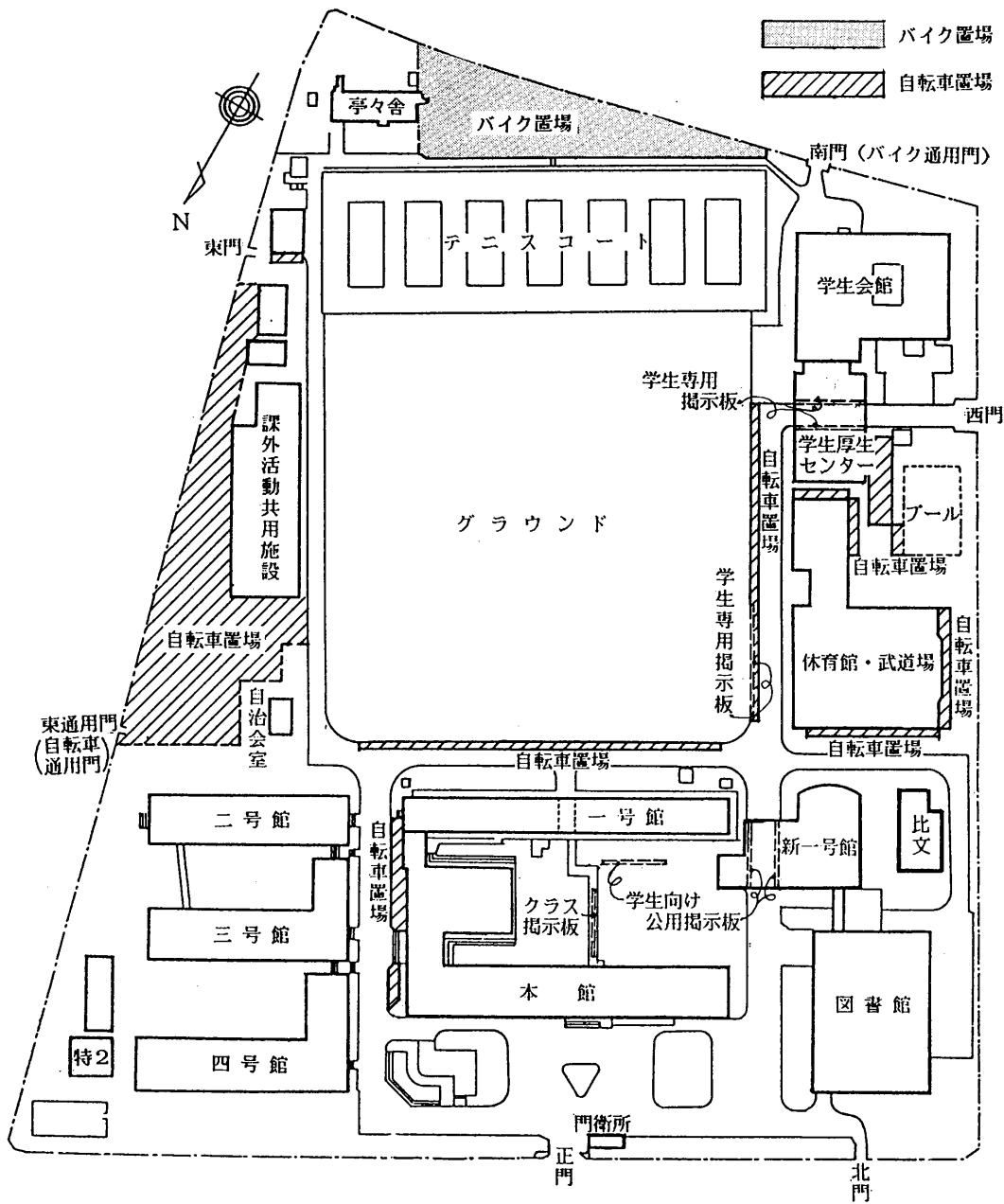
### 自転車・オートバイ置場

- ・ 自転車は自転車置場（23頁参照）に整然ととめてください。
- ・ 本館玄関前の一時駐輪は出来ません。
- ・ 自動2輪やバイクは通学距離2km以上の学生のみに、「南門」からの入構を認めています。
- ・ 学生の自動車による入構は認めていません。

## 施設などの利用申し込み手続き一覧

種 別	手続先掛名等	必要書類・手続期間等	注 意 事 項 等
教室使用願	寮務・課外活動掛 共用施設窓口	使用日の10日前～前日の午前中	
亭々舎使用願		使用日の1月前～3日前	
学生会館使用願 学内者のみの使用 学外者を含む使用	学生会館窓口	学生証, 印鑑 4週間前～前日の午前中 学生証, 印鑑 4週間前～1週間前	
体育施設一般使用 運動用具短期貸出し 登山用具貸出し	体育館窓口	一般使用可能時間は窓口に掲示 学生証と引き換え（土曜日は除く）	○土曜日の体育施設使用は要予約 ○体育館等での一時使用
九重山の家利用願	共用施設窓口	学生証, 印鑑	○1月前から予約可
九重共同研修所予約 同上利用申し込み		利用日の2月前～15日前 1年前～2月前 2月前～15日前（要予約）	○1年前から予約可 ○5人以上の団体であること。申込書は共用施設窓口に常備。
島原共同研修センター 予約・申し込み	箱崎地区 学務部学務課		○学務課総務掛に問い合わせること。
下宿・間借りの紹介	学 生 掛	常時	○窓口の紹介簿で各自選択
入寮申し込み 松原寮・女子寮	箱崎地区 学務部厚生課	9月, 翌年2月	○申請書類の交付は六本松地区学生掛でも行う。





六本松地区  
建物 掲示板 自転車・バイク置場 案内図

## 学習室の閉鎖とガードマンによる夜間構内警備について

本学はキャンパス移転を決めていますので六本松キャンパスに新しい建物を建てる事ができません。他方、情報処理教育を重視し実施していくために、情報処理機器を備えた部屋を増設することが必要です。大学院生の数も大幅に増加していますので六本松地区における施設不足は深刻です。

こうした事態から、このたび学習室をやむを得ず閉鎖し、比較社会文化研究科の大学院生のため

の部屋として転用することにしました。学部学生の皆さんは、学習室の代わりに図書館を利用してください。

また、定員削減により、六本松地区構内の夜間および土・日・祝日の警備を警備会社に委託せざるを得なくなりました。

建物への出入りなどに若干変更が生じてきますが、ご理解とご協力をお願いします。



第21回 合宿共同授業

## 投稿歓迎，表紙写真募集

- 編集委員会では，radix を更に豊かな「九州大学全学共通教育広報」にするために，六本松地区の学生・教職員・非常勤講師の皆さんなどの投稿を歓迎します。大学や皆さんに関わること，皆さんが関わっておられることであれば，なんでも結構です。
- 「六本松」にまつわる話，関わる出来事などをお知らせください。編集委員が取材に参ります。
- radix の表紙を皆さんの作品で飾りたいと考えています。写真，絵画，いろいろな趣味をおもちの方，「作品」のカラー写真をご提供ください。周りにそのような方がいらっしゃいましたらご推薦ください。さっそく編集委員がお訪ねします。
- radix についてのご意見をお聞かせください。

### 投稿，応募，推薦先

radix 編集委員 岡野（言 文） 木塚（数 理）  
 日下（比文） 小山（大教セ） 斉藤（健 セ）  
 濱野（健セ） 深江（専門員） 山中（理学部）

六本松地区企画掛（本館1階奥）

または radix ご意見箱（六本松地区教務掛の前）

あ	と	が	き
---	---	---	---

昨年度は4年生のセミナーの担当をさせてもらった。終わりの頃になって，やっとセミナーらしい雰囲気になることができたが，もう少し学生と付き合ってやるべきだったと反省している。しかし雑用に追われ，自分の研究の時間もろくに取れない状態であった。Radix の編集会議も何回か出席できず，編集委員としては失格であった。周りを見回してもみんな忙しそうである。もっと教育と研究に打ち込める，余裕のある大学になって欲しいものだ。 (Y)

桜の花の咲き乱れるのを見ると，ころろがいつになく動きを増し，夢やあこがれの世界が広がっていくのを感じる。いくつになってもそうだが，学生の頃はそれがもっと鮮明だったように思う。なにかができてそうな気配。六本松キャンパスの春はなんといってもこの桜のパワーに自然にふれることができるから好きだ。しかし，これも今年が見極めになるという。この春はキャンパス内をいつもよりゆっくりと歩き，樹々のそばに立ち止まって花とわかれを惜しみたい。 (H)

radix(ラーディクス) No.12 (九州大学全学共通教育広報)

発行日 平成9年3月31日

発行所 九州大学大学教育研究センター

〒810 福岡市中央区六本松4-2-1

電話 (092) 726-4525・4526 (企画掛)